(様式第3号)

企業・団体名(協同組合ハイコープ)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30変更】

_						主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目											
カテゴ	7 4 西口	取組	【非該当】	【予定】の		1	2 3	4	5 6	7	8 9	10	11	12 13	14	15 16	17
ゴリ		レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	104 5444	2 m 3 mm	MI.	5 kan ₹) territori	al &	19:U00*** 	alda Alda	EXTE SIGN.	MIIIT	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	P hate
	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用 条件で、差別しない体制で、経営トップが自ら関与して いる				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7	2
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			ハラスメント禁止条項を、就業規則上にも明記し、相談 窓口を設置している				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1	ı
1	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			残業ゼロを基本とした業務管理を実践している						8.5 8.8						
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在、外国人労働者の雇用は想定していないが、必要 時に備えての研修を行っている。過去に、管理団体とし て外国人を受け入れた実績も活かしている			4.4			8.7 8.8	10.2 10.3					
人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			事務所業務ではあるが、不安全箇所、不安全行動の 発見と改善に、定期的巡回を実施している		3				8						
労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルスケアの教育研修・情報提供や職場環境 等の把握と改善、不調への気付きなど予防と早期発見 に務めている		3										
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			ソフト面での取組はできている				5.1 5.5		8.5	10.2 10.3					
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			雇い入れ時、職制就任時の管理者教育を徹底し、その他組合行事の研修会、視察研修に積極的に参加し、実践の中で学びの機会を得ている			4	5.5		8 9						
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			事務業務はもちろん原則通りであり、その他、組合運営 業務に対しても原則を維持している				5.5		8.5	10.2 10.3					
)	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ			毎朝ランニングやストレッチ等を有志が集まり、実践し ている		3				8						
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の分別、再利用資源の活用を徹底している								11.6	12	14.1		
環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	現状把握後に、数値目標を設定して削減に取り組む					7.3				13			
境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			夏季は緑の植物カーテンで、室内温度の低減を図っている					7.2 7.3				12.4 13.3			
ŀ	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			直接の排出等はないが、資源ゴミと廃棄ゴミの分別等間接的ではあるが取り組んでいる		3.9		6.3				11.6	12.4			

	カ		_{取組} 【非験当】 【予定】の 具体的な取組 1									ルと169:					
	カテゴ	チェック項目	取組レベル	の場合	場合	具1本的な収和 1 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 1 (2	3 4	_								16 17
	ij		レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	3 2	4500° • Mil	5	₽	•	**	10:030** 11:1 4\$* A	1 4 ∞	65:77 T.L.	15 431***	¹⁸ → 18 → 18 → 18 → 18 → 18 → 18 → 18 →
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			有害化学物質欄同様に、間接的な取り組みを実施している				6.6						15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			事務所内で排出される廃棄物、再利用資源について、 3Rに基づく対応に取り組んでいる								13		14.1	
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			検針票にて無駄使いがないか確認している				6.4 6.6							
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ	【非該当】		環境マネジメント規格を取得するほどの業務内容と規 模ではないため	3	.9		6	7			12	13.3	14 15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ		【予定】	ホームページリニューあるに合わせ開示する								12.6			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			再生可能エネルギーへの変更が可能かりサーチを行っている					7.2				13		
21		【天然資源の持続的利用】・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			可能な限り認証商品を利用するようにしている								12.2	13	14 15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄についての行動規範を規定し、社内浸透 を図っている											16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為に関与しない為の行動規範を規定し、 社内浸透を図っている											16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			保護に該当する知的財産の有無を確認し、管理してい く体制を整えている						8.2 8.3 9					
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報に関する基本方針を定め、情報管理面でも漏洩 無きよう管理レベルを上げている											16
26	業 慣 行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			直接取り扱うことはないが、消費者の立場で、「コンフリ クト・フリー」について意識はしている。											16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			組合員との対話を通じて人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている			5			8	10	12	13	14 15	16 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3				8 9	10				17

Г			町組 【非験当】 【予定】の 具体的な取組									ルと169					
		チェック項目	4人が三 の場合 場合 (果などの取得認証があれば、併せて記			1 2		4 5				10	11 12			16 17	
			レヘル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	174 1494	3 mm≤ ⊸v/4	M i Q	₫) (HE)(H)	M &	10:020**		6	55 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	18 const
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			組合活動、組合事業に関する安全性確保に向け、事 務局が中心での仕組み作りに取り組んでいる		3.9						12.4	4		
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			改善提案制度が確立、運用され、業務品質向上に取り組んでいる						9					
31	- ビ ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		業務が事務のみのため				6				12	13	14 15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ			組合としてSDGsに取り組む中で、組合メンバーと社会 課題解決のための製品・サービスについて情報共有等 を行っている	1 2	3	4 5	6	7	8 9	10	11 12	13	14 15	16 17
33	. ネ †	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域環境整備のごみ拾い等で地域との関係を維持し、 活動を通して与える影響をさらに把握し改善に取り組ん でいる	,		4			9		11 12		14 15	17
34 j j	也或貢献。社会貢献。	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	組合のため寄付は難しいが、ボランティア活動には取り 組んで行く予定			4					11		14 15	17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレン ジ			地域資源の優先的利用を心がけている						8 9		11 12	13		
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念が明文化され、社内でも共有できている						8 9					17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			組合誌やメール通信にて、法令遵守に拘わる事項もタイムリーに発信している											16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本		【予定】	事務局を中心とし、組合員も含めた体制を構築してい											16
39	組織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			事務業務においてもステークホルダーは存在し、それ ぞれについて、適切な対応をとっている											16 17
40	体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレン ジ		【予定】	リスクの洗い出しを行い、対策を講じる											16
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいる	チャレン ジ			協同組合として責任を持った対応に取り組んでいる											16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ			クラウドシステム導入にて対策を行っている						9		11	13 13.1		16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			事務局として組合員に対して後継者育成のための研修 を開催している	5					8 9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12	13 14	15 16	6 17
ペーパーレス化	電気、電話など毎月支払のある請求書を、紙ベースからオンライン に変更。事務局からの配信を可能な限り紙ベースからオンラインに 変更する取組を行っている							8.4	4			12.2 12.5	13	15.2 15.4 15.5	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登 録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 〇 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>赤字</mark>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定